

ソフト大垣ミナモの支援企業 大垣西濃信金が加入

11社に

来季からソフトボール女子の日本リーグ1部に昇格する大垣ミナモソフトボールクラブは30日、大垣市内で臨時総会を開き、選手を雇用してクラブを支える支援企業に新たに大垣西濃信用金庫が加入することを決



来季に向けて結束を誓う大垣ミナモソフトボールクラブの支援企業の代表者たち＝30日午後、大垣市小野、市情報工房

めた。支援企業は11社目。大垣ミナモは、地元企業が共同支援するクラブチーム。同金庫は選手2人を雇うする予定で、クラブはさらなる体制強化を図る。総会では、1企業が負担する支援金をこれまでの年間1

40万円から600万円に増額することも決めた。

同金庫の栗田順公理事長は「クラブを通じて地域活性化を目指す思いは、地域の絆を大切にする信用金庫の経営理念と同じ。クラブの活動を支えたい」と抱負を述べた。

クラブの堤俊彦会長は「支援企業の新規加入は心強い。地域に愛されるクラブとして、1部定着を目指す」と語った。

また、クラブは同日、今季限りで退部する7選手を

発表した。(根尾文悟)

退部する選手は次の通り。

▽投手 山田麻未(西濃運輸) 邱安汝(太平洋工業)▽内野手 粕谷朋世(イビデン)小泉あ(サンメッセ)永沢杏奈(神鋼造機)▽外野手 小泉ゆい(JAにしみの)井上奈那(大光)